

2009年度予算案

みなさんの運動と区議団の提案が実現しました

引き続き要求実現にがんばります

09年度予算案の概要が明らかになりました。
 この中には、みなさんからお寄せいただいたご要望を、党区議団が議会などに提案したものが数多く盛り込まれています。しかし森ビルなどの再開発

事業には、これまで27年間にすぎ込まれた238億円に、さらに今後6年間で220億円も投入する相変わらずの開発優先の計画となっています。ここでは、党区議団の提案で予算案に具体化された主なものをご紹介します。

緊急雇用・就労支援

当議員団は、年末を控え急激な景気後退で雇用環境が悪化する中、中小企業・商店対策と雇用問題を中心に区長に「緊急要望書」を提出、副区長にも具体化を提案してきました。その結果、区長を本部長とする「港区緊急総合不況対策本部」が発足、具体的検討が進み、次の施策が予算化されました。

あらたに臨時職員雇用

景気悪化による雇用の打ち切りなどにより失職した人の就労機会を緊急に確保するため、環境と安全確保事業等に臨時職員を雇用します。

(37,000万円)

緊急就労支援はじまる

景気悪化による雇用環境が悪化する中、非正規雇用者等の就労支援のため、ハローワークとの共催で、就職活動セミナー、就職面接会等を開催する。(1,075万円)



若者の就業体験

若者の就業機会の減少が懸念される中、若者向けに区における就業体験の機会を提供し、「若者の就業体験」事業の雇用枠を拡大する。

(5,400万円)増額

地域経済への支援



緊急保障制度認定 相談窓口強化

20年度に緊急対応した国の緊急保証制度の認定・相談窓口を、引き続き21年度末まで開設し、区内中小企業の資金調達を支援。

(845万円)

緊急支援融資信用保証料 全額補助 21年度も

20年度に緊急対応した、区の緊急支援融資における信用保証協会保証料の全額補助を、引き続き21年度末まで実施。

区内共通商品券の発行支援

区内消費の拡大および商店街の活性化を図るため、港区商店街振興組合連合会が発行する「ミラム付共通商品券」の発行補助を増額し、「プリミアム付共通商品券」が1億1千万円発行できるように支援する。

(4,000万円)

高齢者・障害者の環境整備

一度にわたる介護報酬引き下げで、重労働、低賃金のために離職者の多い介護職員の確保に、区内各事業所は四苦八苦しています。

当議員団は、介護職員確保のために住宅手当や人件費補助、人材育成への補助などを繰り返し提案してきました。介護事業所や、介護現場で働く人から請願も提出され当議員団は採択を主張、自民・公明・フォーラム民主などによって請願は「継続扱い」となっていますが、家賃助成や、人材育成への助成などが予算化されました。

また、議会でも提案してきた高齢者向けの健康トレーニングメニューの拡充、障害者福祉への助成などが実現します。

介護職員への家賃助成が実現

介護サービスに従事する区内居住職員の住宅確保のため、特養ホームと老健施設には、毎月5人分、ひと5万円の助成。グループホームには毎月2人分、ひと5万円の助成がスタートします。

介護専門学校の入学 授業料に助成はじまる

介護専門学校等に入学、介護福祉士資格取得をめざす人に対し、卒業後は区内の介護事業所に3年以上勤務するのを条件に学費の4分の3、年間75万円の助成をします。

また、介護技術の向上に専門性を確保するため、基礎研修の受講費用の4分3、年間13万1250円を限度に助成します。

裏面に続く

日本共産党 2009年2月号外 ('09年度予算案特集)

港区議員団ニュース 港区芝公園 1-5-2

ホームページ (3578)2945~6

http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp 携帯用QRコード

健康トレーニングメニューが充実

より自分自身とした健康トレーニングに参加できるような福祉会館等のコース数を増やす事業が拡大されています。

精神障害者・知的障害者グループホームの設置

精神障害者や知的障害者向けのグループホームを設置し、運営する福祉法人等に運営費等の助成が実現。

(2億7,000万円増額)

福祉タクシー券が増額されます

外出困難な障害者(児)向けに日常的な行動範囲の拡大を支援するため、年間のタクシー券の助成基準額を4万4千円に増額。

子育て支援

「子育てするなら港区で」「待機児童の解消」は区長公約ですが、保育園に入園を希望する待機児童は現在、1,000名を超え一向に解消のめどは立っていません。当議員団は繰り返しこの問題を議会で取り上げ、緊急の整備・拡充を求めてきました。既存園の整備、港南3丁目保育園の運営が始まりますが、更なる運動が求められています。

保育園の待機児童対策

急増する保育園の入園希望に対応するため、東麻布保育室および札の辻保育室に加え、港南3丁目に新たな保育室を整備 運営します。

(7億7,000万円)



出産費用助成 60万円に引き上げ

今年1月からの「産科医療保障制度」がスタートし出産費用が3万円引き上げられます。区の「出産費用助成」の限度が50万円の区、1区が助成額が減っています。

議員団は、議会や国保連協協議会で引き上げを求めると、区長への申し入れを提案、その結果全会派が引き上げで一致、幹事長会で議長が区長に要請。その結果、1月から限度額が5万円引き上げが実現した。

これにより、1区の出産費用が高くなる助成限度額が実現し合わせているから、限度額の大幅な引き上げを提案してきた結果、限度額が60万円に引き上げられた。

(2億6,700万円増額)

私立保育園保護者に補助金

保護者の経済的負担を軽減するため、すべての所得段階の収入、公私立幼稚園間の保護者負担の格差の2分の1以上を交付するため、私立幼稚園保護者補助金を増額。

(3億7,700万円増額)

安全とくらし

非木造建築物の耐震改修等の促進

非木造の民間住宅(戸建て・共同住宅)および第一京浜などの緊急輸送道路沿道の建築物(マンション、事務所、店舗等)の耐震化を促進するため、耐震改修工事費用等の一部を助成。また、マンション区分所有者の合意形成の円滑化を図るため、耐震診断アドバイザー派遣等を実施。

(2億2,340万円)

住宅用火災警報器の設置支援

21年度から災害時要援護者等の高齢者や障害者に対して、住宅用火災警報器の現物支給および取り付けを支援(上限2個、自己負担なし)

(1,700万円)

新規ちいばす 5路線新設

当議員団は、大江戸線などの地下鉄開通を理由とした都バス路線の廃止・縮小の時から、廃止反対、路線の充実を求める運動をしてきました。

また、港区内の住民の足の確保に向け、「ミニコミュニティバスの運行を提案。2004年(平成16年)10月から「ちいばす」1路線の運行がはじまりました。

この後、交通不便地域の区民、共産党も協力して議会への請願、区長への陳情・要請を繰り返す中、区も区民アンケートを実施するなど区民の要望を聴く中で、5つの新しい路線の新設を決めました。区民のみならず長年の運動が区政を動かすことができました。

なお、台場地域は今回の新設路線から外されています。路線の拡充を強く求めています。

(1億6,500万円)



その他のくらし関連の拡充予算案

- ◆ NPOと協働による緊急就労支援 (1, 391万円)
- ◆ 高齢者セーフティネットワークの構築 (543万円)
- ◆ 後付アイドリングストップ装置に導入補助 (90万円)
- ◆ 地デジ放送移行への支援 (3, 221万円)
- ◆ 区有施設の省エネルギー化 (2, 936万円)
- ◆ マンホールトイレの整備 (7, 238万円)
- ◆ 緑のカーテンプロジェクト拡大 (2, 391万円)
- ◆ にぎわい商店街事業補助金拡大 (1億7, 014万円)
- ◆ 災害に備えた備蓄物資整備 (1億2, 626万円)
- ◆ 高層住宅等の震災対策 (1, 167万円)